



大杉小学校

大豊町教育委員会の平成24年度教育行政方針は、学校教育において、保育、小学校、中学校の活性化を通して小中一環教育の更なる推進を図ると共に、地域の特徴を生かした学校教育を推進するとしている。

学校の基本方針は「健全な社会人の基礎を身につける」こととし、「心」と「体」と「知」をそれぞれの発達段階に即してしっかりと成長させる。そのためには、「ホップ・ステップ、ジャンプの小中一環教育」を柱に充実

推進を図る。また、大豊に住み、大豊で育つ子どもたちのために、地域学習や体験学習及び勤労学習など地域の特徴を生かした教育に取り組み、「大豊を心に刻む教育」を推進するとしている。

この方針を念頭におき各小学校及び中学校の各学年の授業を見学した後、各校長から教育目標などについて説明を受けた。大杉小学校は、心・体・知の調和のとれた、健やかでたくましい子どもの育成、大田口小学校は、児童や保護者・地域の願いを踏まえ、知・徳・体の調和的発達を具現化する大田口の教育を創造する。大豊小学校は、力を発揮できる大豊の子どもを育てるとする。中学校は、創造性豊かに生きる力をもった生徒を育てることを教育目標として、教育重点目標、研究主題、更には研修計画を具体的に樹立し熱心に授業に取り組んでいた。

一方、近年急激に進む少子化に伴い園児、児童、

生徒数の減少は著しく、10年前の平成14年には児童数216人、現在では82人と134人減少し、減少率は62％となっている。また、生徒数は117人が、現在では64人、53人減少し、減少率45.3％となっている。

特に児童数の減少は著しいものがあり、今後、更なる複式学級の増加に加え団体活動等に影響が懸念される。このことから、「新しい学校づくり検討委員会設置条例」に基づく検討委員会において、大豊町立小学校再編について具体的検討がなされている。

中学校については、平成23年度から取り組んでいる3年生による海外研修を実施しており、国際感覚の醸成が図られている。特に、英検の合格人数は、準2級4人、3級5人、4級9人、5級3人と英語の力がつき、特色ある学校となりつつあり評価するものである。高齢者共同住宅である黒石ふれあい住宅は、6室あるが入居者は2名で

あった。高齢者が生活するには平屋で台所・風呂・トイレ等は各部屋にあるのが理想であるが、階段があり、共同の台所・共同のトイレであり、風呂はふれあいセンターで入浴することになっている。

には押し入れ等が少なく生活必需品が置けない。また、二階への階段が急勾配で危険が伴い利用していない状況であった。黒石ふれあい住宅・落合ふれあい住宅は、高齢者が生活するには適していないと思慮する。一段と高齢化が進む中、入居者の利便性を考慮し早急な整備が必要である。

平成23年度各種会計歳入歳出決算認定 (承認・全員)

平成23年度の一般会計及び特別会計歳入歳出決算書、付属書類等並びに基金の運用状況を示す書類等が、法令に準拠して処理されているか、予算執行が適正であるかどうかについて、関係諸帳簿等の照合を行うとともに、必要に応じて関係職員の説明を求める方法により審査した結果、いずれも正確で適正に処理されているものと認めたとところである。

一般会計及び特別会計における歳入総額は62億5145万6265円、歳出総額は60億5920万9456円となり、前年度に比べ歳入は8億2736万2030円、11.7%、歳出は7億7217万1998円、11.3%とそれぞれ減少している。予算に対する執行率は歳入94.8%、歳出91.9%となり、前年度に比べ歳入は11.7ポイント、歳出は11.3ポ

イントそれぞれ減少しており、翌年度へ繰り越された事業を除きおおむね予定どおりの執行と認められた。

なお、歳入・歳出差引額の形式収支1億9224万6809円から翌年度に繰り越すべき財源3212万4000円を控除した実質収支は1億6012万2809円の黒字となっている。単年度収支は、当年度の実質収支1億6012万2809円から前年度実質収支1億9295万4841円を差し引いた3283万2032円の赤字となっている。

一般会計の歳入決算をみると、自主財源の根幹をなす町税は前年度と比べ町民税及び固定資産税が減少し、全体として前年度に比べ88万3178円、0.2ポイント減となっているが、嶺北4町村滞納整理等推進機構を設置し、税務事務の共同処理を実施するなど、その実績は顕著に現れており評価するものである。

依存財源は、県支出金、国庫支出金及び地方交付税の減により、前年度対比11億0334万4443円、23.8%減少している。一方、歳出決算について前年度と比較してみると、公債費等の減により9604万2929円、2.1ポイント減となっている。

町有財産の管理については、町民の共有財産であることを十分認識し、遊休財産の有効活用、処分についても検討された。

今後の経済情勢等の影響や景気の動向を踏まえ、本町を取り巻く歳入環境は今後とも依然として厳しく、特に歳入の根幹をなす町税収入においては多くを見込むことは困難であり、また、歳出面では少子高齢化の一層の進展、雇用情勢の悪化に伴う扶助費等の増加や安全・安心のための基盤整備等への対処など、多くの課題を抱えている。このような状況下、本町が将来に向けて持続的



決算審査意見書提出

編集後記

新年明けましておめでとうございます。新年を迎え、寒さもより一層厳しくなり、空気も乾燥してきました。全国的にインフルエンザも流行する季節です。皆さんご存知かもしれませんが、風邪予防の手洗いとマスクについて紹介したいと思います。

まず手洗いは、手のひら・甲・爪の間・指の間を洗うのは勿論のこと、もう一つ忘れられがちなのが「手首も洗う」ことが重要だということです。手のバイ菌を取り除いても、手首にバイ菌が残ったままでは、手洗いの効果が半減してしまいます。『しっかりと手洗いをを行う』ことが、予防に繋がるのです。

次に「マスク選び」のポイントです。マスクには人の顔の大きさに応じたサイズがあるのをご存知でしょうか。子どもたちが大きいマスクをし、逆に大人の方が小さいマスクを着用している姿をよく見掛けます。これは誤った選び方です。マスクと顔との間に隙間があれば、そこから菌が侵入し、また菌が放出されてしまいます。マスクには小さいサイズから大きいサイズまであるので、『自分の顔の大きさに合ったマスクを選ぶことが自己防衛となり、拡散防止に繋がる』のです。

私たち広報編集委員は、任期最後の編集となりました。2年間町民の皆様にはご愛読いただきまして誠に有り難うございました。寒さはますます厳しくなりますが、風邪をひかないようにご自愛してください。 記 小川智也

広報編集特別委員会

委員長 佐藤 徳治
副委員長 小川 智也
委員 三谷 幸一郎
委員 前野 由和
委員 都築 正光

【ご意見やご感想は】 大豊町議会事務局

電話 7210468 (直通) まで